

＜一般又は特定貨物自動車運送事業の方＞
徳島県トラック運送事業者「エコ・チャレンジ」支援事業 宣言書

事業者名(申請者)	
代表者氏名	

1 実施計画

昨今の燃油価格高騰に対応するため、燃費向上や環境配慮に向けた取組のうち、下記の項目について、取り組みます。

※ 下記の選択項目の中から13項目以上を選択し、取組項目にチェック☑を記載してください。
ただし、大項目の「エコドライブの実施」の中から5項目以上を選択してください。

大項目	小項目	【取組項目】
エコドライブの実施	・ 各車両の燃費の把握	☐
	・ 車間距離にゆとりをもった加速・減速の少ない運転	☐
	・ 適切なエアコンの使用	☐
	・ 適切なアイドリングのストップ	☐
	・ ふんわりアクセル「eスタート」及び早めのアクセルオフの徹底	☐
	・ 渋滞を避け、走行距離・時間を削減する余裕をもったルート選定	☐
環境保全のための 仕組み・体制の整備	・ 環境保全に関する基本方針の策定や社内への周知	☐
	・ 環境保全推進体制の構築	☐
	・ 従業員に対する環境教育・啓発活動・研修	☐
	・ 事務所における省エネ(節電・空調の適切な温度管理等)の推進	☐
	・ 廃棄物(廃タイヤや廃オイル等)の適正処理とリサイクルの推進	☐
自動車の 点検・整備	・ 点検・整備のための実施体制	☐
	・ 適切なタイヤの空気圧の管理	☐
	・ エアフィルターやエンジンオイルの適切な清掃・交換	☐
	・ 不要な荷物を載せたままにしない車両の軽量化	☐
経営改善	・ デジタルタコグラフ等、運行管理機器の導入・活用	☐
	・ 業務時間の把握・分析および長時間労働の抑制に向けた取組	☐
	・ 標準的な運賃や、積込料・取卸料の適正収受に向けた取組	☐
	・ 燃料サーチャージ制度の導入に向けた検討(導入済み含む)	☐
GXの推進	・ エコタイヤやエアディフレクター等の省燃費器材の導入・活用	☐
	・ 環境対応車の導入・検討	☐
	・ 「グリーン経営」等、環境に関する第三者認証の取得・更新・検討	☐
物流の適正化	・ 荷主等との協議・連携による、荷待ち時間や荷役時間の削減	☐
	・ 実車率・積載率の向上(帰り荷の確保や共同配送などの工夫)	☐
	・ 輸送網の集約や輸配送の共同化の検討	☐
	・ モーダルシフト・モーダルコンビネーションの検討	☐

＜エコ・チャレンジのすすめ＞

エコドライブは、燃料消費とCO2排出を抑え、環境保全(GX推進)につなげる運転技術です。燃油価格の高騰が続く今、エコドライブの実践は事業者様の「経費削減」に直結するだけでなく、交通事故を防ぐ「安全運転」にもつながります。

本支援金を契機に、心と時間にゆとりを持った運転を心がけ、燃費向上と環境配慮に向けた「エコ・チャレンジ」へ積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

2 宣言及び支援金請求

当社は、徳島県トラック運送事業者「エコ・チャレンジ」支援事業 宣言書において取り組むとした項目について、今後も継続して実施していくことを宣言し、支援金を請求します。

＜貨物軽自動車運送事業のみの方＞
徳島県トラック運送事業者「エコ・チャレンジ」支援事業 宣言書

事業者名(申請者)	
代表者氏名	

1 実施計画

昨今の燃油価格高騰に対応するため、燃費向上や環境配慮に向けた取組のうち、下記の項目について、取り組みます。

※ 下記の選択項目の中から7項目以上を選択し、取組項目にチェック☑を記載してください。
ただし、大項目の「エコドライブの実施」の中から3項目以上を選択してください。

大項目	小項目	【取組項目】
エコドライブの実施	・ 各車両の燃費の把握	☐
	・ 車間距離にゆとりをもった加速・減速の少ない運転	☐
	・ 適切なエアコンの使用	☐
	・ 適切なアイドリングのストップ	☐
	・ ふんわりアクセル「eスタート」及び早めのアクセルオフの徹底	☐
	・ 渋滞を避け、走行距離・時間を削減する余裕をもったルート選定	☐
環境保全のための 仕組み・体制の整備	・ 環境保全に関する基本方針の策定や社内への周知	☐
	・ 環境保全推進体制の構築	☐
	・ 従業員に対する環境教育・啓発活動・研修	☐
	・ 事務所における省エネ(節電・空調の適切な温度管理等)の推進	☐
	・ 廃棄物(廃タイヤや廃オイル等)の適正処理とリサイクルの推進	☐
自動車の 点検・整備	・ 点検・整備のための実施体制	☐
	・ 適切なタイヤの空気圧の管理	☐
	・ エアフィルターやエンジンオイルの適切な清掃・交換	☐
	・ 不要な荷物を載せたままにしない車両の軽量化	☐
経営改善	・ デジタルタコグラフ等、運行管理機器の導入・活用	☐
	・ 業務時間の把握・分析および長時間労働の抑制に向けた取組	☐
	・ 標準的な運賃や、積込料・取卸料の適正収受に向けた取組	☐
	・ 燃料サーチャージ制度の導入に向けた検討(導入済み含む)	☐
GXの推進	・ エコタイヤやエアディフレクター等の省燃費器材の導入・活用	☐
	・ 環境対応車の導入・検討	☐
	・ 「グリーン経営」等、環境に関する第三者認証の取得・更新・検討	☐
物流の適正化	・ 荷主等との協議・連携による、荷待ち時間や荷役時間の削減	☐
	・ 実車率・積載率の向上(帰り荷の確保や共同配送などの工夫)	☐
	・ 輸送網の集約や輸配送の共同化の検討	☐
	・ モーダルシフト・モーダルコンビネーションの検討	☐

＜エコ・チャレンジのすすめ＞

エコドライブは、燃料消費とCO2排出を抑え、環境保全(GX推進)につなげる運転技術です。燃油価格の高騰が続く今、エコドライブの実践は事業者様の「経費削減」に直結するだけでなく、交通事故を防ぐ「安全運転」にもつながります。

本支援金を契機に、心と時間にゆとりを持った運転を心がけ、燃費向上と環境配慮に向けた「エコ・チャレンジ」へ積極的に取り組んでいただきますようお願いいたします。

2 宣言及び支援金請求

当社は、徳島県トラック運送事業者「エコ・チャレンジ」支援事業 宣言書において取り組むとした項目について、今後も継続して実施していくことを宣言し、支援金を請求します。
